

コープ災害ボランティア

第47号 ネットワークニュース

2011年 2月発行
東京都生活協同組合連合会
コープ災害ボランティアネットワーク幹事会
03-3383-7800

第7回 あなたならどうする？ 発災直後のけが人救出体験

阪神・淡路大震災での被害の多くは、家具の下敷きや倒壊家屋の下敷きによるものでした。

1月29日開催の第7回の講座では、職場で地震にあったら・・・、仲間がけがをしたら・・・、救出劇を通して発災直後のけが人救出の方法や、救出する際の注意点を学びました。また、三角巾の使い方や、身近にあるものでできる応急手当の方法などを学びました。



名演技でわかりやすい☀
講師を務める連合東京ボランティアサポートセンターの皆さん。

けが人救出劇

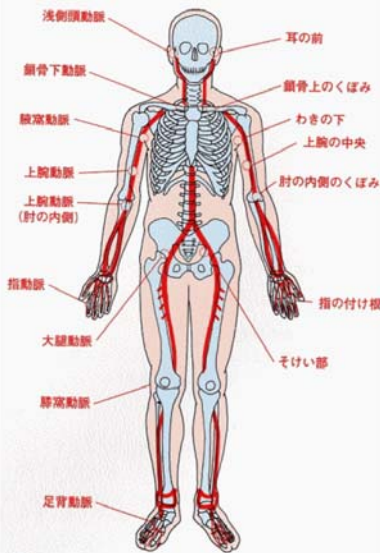
震度7の直下型地震が襲い、とあるオフィスでもあちこちに被害が出ているようです。資料室で仲間の一人が書庫の下敷きに。けがをしていない4人が救出に向かいます。



救助に向かうときの注意点

- ①まず、自分自身の安全を確保すること。
- ②何人かで救助に当たる時は、必ずリーダーを決め、指示に従うこと。
- ③現場の状況を調査して救助に向かうこと。
- ④報告・指示は必ず復唱し、間違った指示や思い込みでの作業を防止すること。

応急手当



止血の方法

◎直接圧迫止血

- ・感染予防のため、ビニール手袋やビニール袋を使用する。
- ・傷口をガーゼやハンカチで直接強く押さえ、圧迫する。

◎間接圧迫止血

- ・直接圧迫止血がすぐに出来ない時に行います。
- ・きず口より心臓に近い動脈を手や指で圧迫して血液の流れを止める。
- ・直接圧迫止血を始めたなら、間接圧迫止血は中止する。

骨折の手当て

- ・患部の痛みを緩和し、出血予防に固定する。
- ・骨折部の上下の間接を含められる長さ・強さ・幅のある物(新聞紙、段ボールなど)を当て、包帯でしっかり固定する。
- ・包帯がしまり過ぎたり、血行が悪くならないようによく観察する。

三角巾の使い方



身近にあるストッキングを使った手当の仕方

受講生の感想

- ・リーダーは全体を見ること、メンバーは傷病者を励ますことが大事だと思いました。
- ・一つ一つの確認が二次災害を起こさない要因だと思います。
- ・三角巾の使い方を家で復習したいと思います。まずは、非常袋にストッキングを足しておこうと思います。
- ・『何もなくても声をかける勇気を持つ』知識・技術を得られたことで、私にも何か出来るかもしれない。

ボランティアとして
参加しました!

いま、わたしたちに、できること。 KOBE MEMORIAL 1.17 灯りのつどい

主催:東京災害ボランティアネットワーク



阪神・淡路大震災で教えられたことを大切に

災害を「身近に感じる」、災害から「いのちとくらし」を守る、市民による市民のための「小さな気付き」のイベント「灯りのつどい」が1月15日(土)国際フォーラム地上広場で開催されました。

CO災ボメンバーから15名が炊き出しや、会場設営等のボランティアとして参加しました。

ステージテント

聖パウロ学園高校のハンドベルの演奏や、阪神・淡路大震災の記憶と教訓を語り続け、災害から命とくらしを守るメッセージが朗読され、犠牲者へ黙祷をささげました。



本部テントでは、防災クイズの回答者に防災グッズを配布



グラスに思い思いの絵付けをする灯りのテント。出来たグラスは、参加者にプレゼント



火災時の煙が体験できる煙体験ハウス



パネル展示ブース

参加団体の被災地支援、防災活動の様子などを展示



炊き出しテント

被災地への支援に欠かせない炊き出し。CO災ボのメンバーがお汁粉を作って振る舞う実践体験をしました。

解凍した白玉をさっと茹で、器にもってお汁粉を入れて出来上がり。



かまどを組み立て、鍋やお玉を洗って下準備。



あんこをお湯で適当にのぼして、お湯を張った大きなお鍋に。ここで混ぜるのに力が必要です。



お箸をそえて、あったかいお汁粉を参加者に振る舞いました。

